



# OSAKA PORT MAP



## 堺泉北港

堺泉北港は15~17世紀ごろ海外との貿易で栄えた「堺港」と昭和に入ってから整備が進んだ「泉北港」が1969年(昭和44年)に統合して誕生した港です。誕生したころから、堺泉北臨海工業地帯を支える工業港として発展し、関西の物流・生産・エネルギー供給に貢献してきました。最近ではカーボンニュートラルポート形成計画や泉大津フェニックス計画など、環境を重視した取り組みも進んでいます。

### A エコポートモデル事業

大和川の河口近くで水質を改善するため、人工的に干潟を作っています。

### C 堺青果センター



外国から果物を輸入している施設です。バナナやシトラス類(レモン、オレンジ、グレープフルーツ)が主な輸入品です。

### E 助松埠頭



堺泉北港に出入りする中古車や鋼材などの貨物を取り扱っている埠頭です。フェリー乗り場やコンテナヤード、ガントリークレーンが整備されているのもこの助松埠頭です。

### F 汐見埠頭



多数の上屋・倉庫・岸壁が整備されている埠頭で、外国との貿易に活躍しています。主に、中古車・鋼材・合板・砂利・砂などが取り扱われています。

### G 泉大津フェニックス



家庭から発生するゴミを焼却場で燃やした後の燃えかすや、工事現場で発生した土などを、海を埋め立てる材料として再利用するフェニックス計画が泉大津沖で行われています。完成した土地は、海外に輸出される中古車の保管場所や野外コンサートの会場などに利用されています。

### 泉州港



### 泉州港

関西国際空港の海上の玄関口となっている港で、空港の利用客を運ぶ高速旅客船や航空燃料を運ぶオイルタンカーがやってきます。

### 淡輪港



### 深日港

大阪府最南端の港です。きれいな海が広がっており、周辺は釣りを楽しむ人で賑わっています。

### 深日港



### 岬町



### B 堺7-3区 共生の森事業



最近では、港でも環境に気を配って整備を行うことが求められています。ここでは行政・NPO・ボランティア、企業が一緒になって、苗木を植えるなど、「森」の整備を行っています。

### D 堺泉北臨海工業地帯



1950年代半ばから1960年代半ばに建設された工業地帯で、鉄鋼、石油、ガスなどを扱う工場が多く建ち並び、関西有数の規模を持っています。ここには、全長300メートルクラスの巨大なタンカーが入港することもあります。また、堺浜(堺2区)に大手農業機械メーカーがスマート農業のグローバル開発拠点となる工場を建設するなど、大きな注目が集まっています。



### 阪南港



### 泉州港



### 尾崎港



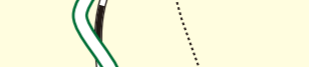
### 淡輪港



### 深日港



### 岬町



### 泉佐野港



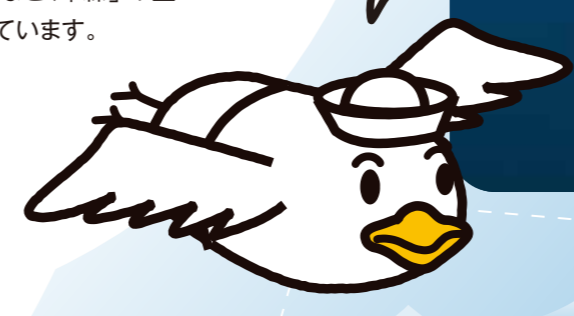
### 尾崎港



## 堺泉北港



たくさんの人やモノが集まっているねー



## 堺泉北港

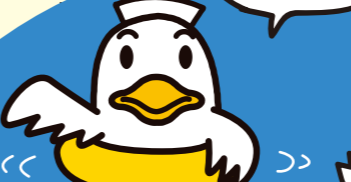
## 阪南港



## 阪南港

1968年(昭和43年)、「忠岡港」「岸和田港」「貝塚港」の3つの港が統合して誕生した港です。岸和田市沖のちきりアイランド(阪南2区)の整備が進められています。また、人工干潟を作るなど自然環境を重視した取り組みも行われています。

いろんな役割があるねー



### I ちきりアイランド(阪南2区)



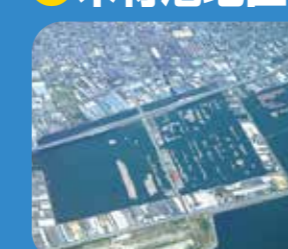
現在埋め立てが進んでいる地区で、完成した土地には、ゴミ焼却場(岸和田市貝塚市クリーンセンター)や工場が建てられています。また、人口干潟や緑地がつくれるなど、人と海がふれあえる港づくりが進められています。ちなみに、地元の岸和田市にある岸和田城の別名が「ちきり城」であったことから、この名前がつけました。

### J 新貝塚埠頭



泉南地区の物流の玄関口として活躍する埠頭で、阪南港では最も新しい埠頭です。この埠頭の南側には二色の浜産業団地があり、約100社の企業が工場などを建設しています。

### H 木材港地区



阪南港誕生のきっかけになった地区で、大規模な貯木場が整備されています。